

日露歴史研究センター・愛知大学国際中国学研究センター（政治外交班）
早稲田大学20世紀メディア研究所・NPO法人インテリジェンス研究所

共催

第8回ゾルゲ事件国際シンポジウム

「ゾルゲ・尾崎処刑70周年 新たな真実」

日時 2014年11月8日（土）午後1時～午後5時
（受付開始12時30分）

場所 明治大学リバティータワー
（地下1階1001号教室）

プログラム

時程	発表内容	パネリスト
開会 13:00	開会のことば	
13:00～13:05	共催団体代表挨拶（日露歴史研究センター代表 白井久也）	
13:05～13:15	来賓挨拶（山崎洋、ポール・ブケリッチ、L・M・マギー）	
13:15～13:45	ゾルゲ断章—わたしの執筆ノートより	作家・日本ペンクラブ理事 小中 陽太郎
13:45～14:15	中国におけるゾルゲ関係研究について	復旦大学国際関係與公共事務学院教授 臧志軍
14:15～14:45	ゾルゲ事件端緒説をめぐる諸問題	社会運動資料センター代表 渡部 富哉
14:45～14:55	休息10分	
14:55～15:35	整理が急がれたゾルゲ諜報団「ラムゼイ機関」	ロシア国立軍事公文書館研究員 M・アレクセーエフ
15:35～16:05	米国陸軍情報部(MIS/CIC)1953年 「伊藤雅夫とその仲間たち」ファイルから 「戦後ゾルゲ団」「第二のゾルゲ事件」の謀略？	早稲田大学客員教授・一橋大学名誉教授 加藤 哲郎
16:05～17:00	質疑・応答	
閉会 17:00	閉会のことば	

使用言語 日本語、ロシア語
逐語通訳 吉田臣吾（露・日）